

# わか つ か

WAKKA

鳥取市のまちなかを  
応援する情報誌

2023

SPRING

vol.

49



特集 **暮らしも仕事も、  
つながるまちなか**

FREE

ご自由にお取りください



# 暮らしも仕事も、つながるまちなか

あなたにとってまちなかはどういう場所ですか？暮らし場所？それとも働く場所？今回の特集で取材したのは、中心市街地に暮らしながらさまざまなプロジェクトのマネジメントを仕事にされている野口明生さん。自然体な雰囲気印象的な人で、楽しいコトが起きている場所にはいつもその姿を見る気がする。そこにまちなかの魅力が見えてくるのではとお話を伺った。

野口明生さん



## 岡山県でゲストハウスを立ち上げた経験

「いつも何をやっている人かわからないと言われるんです」。肩書きは、フリーランスのプロジェクトマネージャー。地域、大学、団体などの事業やイベントに関わり、企画を考えたり、進行をサポートしたりするのが仕事だ。そもそも今の仕事につながるきっかけは、岡山市でのゲストハウス運営だという。

「もともと三朝町出身で、湯梨浜町に『たみ』というゲストハウスができる時に手伝いをしていて、そこで知り合った設計士さんから岡山市の空き家で何かやってみないかと誘われたんです。たみを見ていて、人が交流して

そこで何かが起こる現象が面白いと思っただけでした」

岡山駅西側の古い建物の並ぶ商店街の端で、空き家をリノベーションしてゲストハウスを作った。「なんでこんな場所に？」と言われながら、若者や外国人旅行者などが集い、次第にその街の景色が変わっていった経験は野口さんにとって大きかった。

「0から1を作っていく面白さがありましたし、その経験があるから、今も何かプロジェクトをやりたい時に進行を組み立てる仕事で声をかけてもらえるのかもしれない」

街で人が交わることを生み出すこと。それ自体の面白さが、今の活動の原点でもある。



## 鳥取市に移住し、まちなかが生活拠点に

岡山でゲストハウスの立ち上げと運営を5年経験したのち、2017年に結婚を機に地元鳥取県にUターン。鳥取市の中心市街地で雑貨屋を営んでいた妻とともに、市内に暮らし始めた。

「まちなかは便利だなぁいつも思っているんです。当時妻の店に通えるのがきっかけだったけど、今もまちなかに居る。いろいろな活動をしている友人もすぐそばにいて、子供も近くの学校に歩いて通える。自分の生活全部がそこにまとまっているのがいいなと感じています」

2018年には、市民参加型の舞台公演「鳥取銀河鉄道祭」の事務局を務



▲鳥取銀河鉄道祭『ゲキジョウ実験!!!「銀河鉄道の夜→」』(2019)

めることに。そして、リノベーションスクールの講師、全日空が実施したアーティストインレジデンス実証実験「LANE meets ART・COM」の現地コーディネーター、福祉とアートを掛け合わせた企画展「フクシ×アートMOMENTS」など、まちなかを舞台にしたプロジェクトに声がかかった。

ゲストハウスの運営マネジメントや、出身の県中部では、人の記憶を記録する映像制作やショッピングセンターを盛り上げるプロジェクトにも携わり、その活動は広がっている。

仕事の内容は、スケジューリング管理や企画書作りと諸々の事務仕事も多く、「足りない所を埋める『都合のいい人間』なんです」と笑う。だが、この人にマネジメントをお願いしたくなるのはきつと理由がある。

「僕はそれぞれのジャンルの専門ではないけど、どんな企画でも共通するのがマネジメントの部分で、とても大切だと感じています。そのプロジェクトが行われることでちょっと日常が面白くなるんじゃないか、違う見え方がするんじゃないかと思うとワクワクして、自分なら何ができるかを考え始めるんです。基本は何か変なことを、新しいことをしたいというのがあるんですよ」

街に生き、街を知り、街をちょっと楽しくするには何ができるか考える。それを楽しみながら、人や街やアイデアをやらわかにつなげている。



▲(上)リノベーションまちづくりのイベント『空き家会議vol.3「遊」』(2018)  
(下)鳥取大学地域学部とフクシ×アートWEEKsの連携企画『ものがたる作品展』(2022)

## 暮らしと仕事がつながる場所

知り合いや出会いの中から声をかけてもらうことで仕事が生まれているという野口さん。

「まちなかに住んでいるからまちなかの人に出会って、ありがたいことにお仕事をいただいている。お互いの顔が見え、すぐにつながる事ができています」

それぞれの役割がある中で、野口さんはその企画力や運営管理能力で、人を惹きつけるプロジェクトを動かしている。暮らしながら、ばったり人に



←野口さんの活動はこちらから



# まちなかの取り組みをご紹介します! とっとりまちづくり

## 鳥取駅周辺でフリーWi-Fiをご利用いただけます!

鳥取市では、鳥取駅周辺の広場で快適にインターネットをご利用いただけるよう、公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備しています。このたび、鳥取駅南口の広場でもご利用可能になりました！お手持ちのスマートフォン、タブレット端末、無線LAN内蔵パソコンなどを接続し、誰でもご利用いただけます。また、城跡周辺でもWi-Fiがご利用いただけます。詳しい範囲は裏表紙のMAPをご覧ください。



テーマ  
集い、つながる、ととりのまち  
山陰東部の都市核づくり



利用方法はこちら→



## 鳥取駅周辺ウォカブルな賑わい空間実証事業の結果を公開!

令和4年10月に開催した鳥取駅周辺ウォカブルな賑わい空間実証事業の結果を鳥取市公式ウェブサイトにて公開しております。期間中はたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。アンケート結果では、普段鉄道記念物公園を利用されていない方が7割以上おられました。路上にベンチ等があれば利用したいと回答された方は88%、キッチンカーがあれば利用したいと回答された方は95%という結果でした。今後、本事業の結果を踏まえ、賑わい・憩い・交流の場となる公共空間の再整備に向け、様々な取り組みを進めていきたいと考えています!



いただいた  
ご意見

- 周辺に飲食店が少ないので、キッチンカーがくるのは嬉しい
- 道路と川の景観や雰囲気はとても良い
- 車が通らないから過ごしやすい
- 夜は少し怖い、治安が悪い
- トイレ内が汚い、設備が古い

詳細はこちら→



## 中心市街地内の公共空間でイベント実施する事業者を募集!

第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画では『まち歩き推進ゾーン』を設定し、様々な取り組みを行っていきます。今年度から中心市街地内の公共空間でイベント実施する事業者を募集します。公共空間での活性化に向けたアイデアをお持ちの方はぜひご応募ください。

- ◆ 補助対象者: 鳥取市民又は鳥取市に主たる事務所を有する団体
- ◆ 補助率: 4/5
- ◆ 補助額: 上限100万円

詳細はまちなか情報のお知らせをご覧ください!→



### 第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画とは (計画期間:R5.4~R10.3)

ウォカブルなまちづくりや若年層の居住ニーズの傾向を踏まえ、まちなか居住の推進強化などの事業を盛り込み、「誰もが豊かに暮らせるまち」、「交流による活気のあるまち」の2つの基本方針を踏まえた施策を実施していきます。



◎お問い合わせ先: 鳥取市 都市整備部 中心市街地整備課 鳥取市幸町71鳥取市役所本庁舎5階53番窓口  
TEL:0857-30-8331 FAX:0857-20-3953 E-mail:shigaichiseibi@city.tottori.lg.jp

Galleryそら presents

# わたしの好きなまちの○○○

作家さんの目線で鳥取のまちで見つけた『好き』を、作品でご案内

Y Pub & Hostel



デザイナー/コレクター  
蔵多優美さんの  
好きな○○○は...



2018年にギャラリーそらで父の個展を開催。活動を手伝うため当時住んでいた京都と鳥取を月に1度往復する中で、「Y Pub & Hostel TOTTORI」という場所に出会い「地元に戻る選択もアリだな」と考えるようになりました。当時はすぐ戻る予定ではなかったのですが、自身の療養もあり、2019年にUターン。気付けば鳥取に戻って5年目突入です。

鳥取市で生まれ育った私としては、都市部や海外にあるようなパブ(公共の社交場)とホテル(素泊まりの宿)の機能を持つ場が地元にあることにビックリ。年に数回帰省していた頃は灰色のように感じていたまちなかで、この場合は異国情緒溢れ原石のように光り輝く感じだということに驚きを感じました。京都で近しい場の常連だったので居心地が良く感じ、スタッフの皆さんを始め、様々な方と交流するようになりました。鳥取をアートやデザインで耕す先輩達、自らの生活を楽しみながら営む同世代IJUターンの友人知人など、出会う皆さんの活動に惹かれ、鳥取で暮らす人や場の解像度が格段に上がったことで「地元で一緒に何かできると楽しそう」と考えるようになったのです。

2023年1月21日に7周年を迎えたこの場合は、様々な方がお祝いのために集い賑わう時間となりました。一場が持つ力以上に、集う人々の力でさらにその場が光り輝くのだというコロナ禍前に感じていたことを久しぶりに感じました。今後も厳しい世になるかもしれませんが、場があり続け、人が行き交うことで光り輝き続けて欲しい大切な場です。

蔵多さんは今年8月、ギャラリーそらの版画展に出品。10月にはクートラス作品と藤田美希子さんの合同企画展中に対話型鑑賞会を予定しています。

Galleryそら / gallery shop SORA  
鳥取市栄町658-3  
TEL:0857-29-1622

ギャラリーそら



自ら動いて考えて実践行動できる頼もしい人が蔵多優美さんです。デザインやアートを軸に様々なチームと関わり合ってプロジェクトを遂行しています。その中で鑑賞の大切さを実感し、「対話型鑑賞」に自ら取り組むことになりました。美術ってなんだか縁遠いと感じる人たちに鑑賞と対話を通して美術は自由で面白いと気付かせる素敵な案内人でもあります。今後、美術館やギャラリーなどで彼女が案内するワークショップに出会えるかもしれませんね。そうそう、彼女は吉田璋也プロデュースの民藝品をかつて制作していた鍛冶屋の末裔なんです。これから多方面で活躍されるのを密かに注目しています。

Galleryそら オーナー 安井敏恵



## 2023年 春～夏 まちなかイベントスケジュール

- 2/16(木)～4/18(火) 『童謡・唱歌新収蔵品展』  
 わらべ館
- 3/4(土)～9/3(日) 『「糸もの-糸と布と衣と-」(階上)  
「吉田璋也の新作民藝」(階下)』  
 鳥取民藝美術館
- 3/28(火)～4/2(日) 『倉元里彩陶展- 窯変とスカーレット-』  
 ギャラリーそら
- 3/28(火)～4/10(日) 『桜ライトアップ』  
 鳥取城跡・久松公園・袋川桜土手 鳥取市他
- 4/2(日) 『いなばのお袋市』  
 鳥取駅前サンロード 新鳥取駅前地区商店街振興組合
- 4/3(日) 『「津軽のカマリ」上映会+三味線ライブ』  
 パレットとっとり市民交流ホール
- 4/22(土) 『移住者交流会』  
 鳥取市移住・交流情報ガーデン
- 4/22(土) 『桂文吾・桂小文吾親子会』  
 丸由百貨店5階 輝なんせ鳥取和室
- 4/23(日) 『第12回ハッピーウクレレ倶楽部  
鳥取姫路交流会』  
 パレットとっとり市民交流ホール ハッピーウクレレ倶楽部
- 4/28(金)～30(日) 『第13回鳥取JAZZ2023』  
 ギャラリーそら他 鳥取JAZZ実行委員会
- 4/29(土) 『第46回鳥取市花のまつり』  
 本通り・若桜街道[歩行者天国] 鳥取市花と木のまつり実行委員会
- 4/29(土) 『川端賑わい日』  
 川端通り 川端界活性化協議会
- 4/29(土) 『WS「ちゃれきんぐ わんぱくpark」』  
 駅前太平線バード・ハット ちゃれきんぐ株式会社
- 5/28(日)～6/4(日) 『第62回「麒麟のまち」鳥取市美術展』  
 鳥取県立博物館 麒麟のまち鳥取市美術展運営委員会
- 6/25(日) 『第23回ウクレレ発表会』  
 パレットとっとり市民交流ホール ハッピーウクレレ倶楽部

※イベントは、中止や延期、内容等の変更が行われることもありますので、ご了承ください。  
 最新の情報は、わかWEBサイト・SNSでご確認ください。

わっか～鳥取市まちなか情報～ wakka\_tottori

### 【わか設置提携店】(2023年4月現在)

- ①こむ・わかさ、②五臓圓ビル、③鳥取画材、④tottoriカルマ、
- ⑤絹の館サービス呉服店、⑥まちバル鳥取、⑦鳥取市移住・交流情報ガーデン、⑧ギャラリーそら、⑨Y Pub&Hostel、⑩丸由百貨店、
- ⑪シャミネ鳥取、⑫オーガニックスタイル水越屋、⑬隼lab.

### わかはWEBサイト・Instagramでご覧いただけます!

スマホやパソコンから気軽にわか情報にアクセスできます! 特集動画に取材オフショット、わかグルメやイベントレポートなどWEB限定のコンテンツも。随時更新中です!



<https://web-wakka.com>

[wakka\\_tottori](https://www.instagram.com/wakka_tottori)

## わか49号取材先MAP



発行/鳥取市中心市街地活性化協議会・鳥取市都市整備部  
 わっかに関するお問い合わせ先/鳥取市中心市街地活性化協議会  
 TEL:0857-391077 FAX:0857-391222  
 E-mail:info@tottori-machinaka.com WEB:http://www.tottori-machinaka.com  
 ※この印刷物は、国等による環境物品等の調達等の推進等法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

